

令和5年11月22日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時30分

2 閉会時間 11時20分

3 教育長名 森 英夫

4 署名委員 藤原 直彦

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
○	教育委員	杉本 かおり
○	教育委員	古正 栄司

6 出席者氏名

教育部長	椎野 文彦
教育総務課長	田嶋 卓司
教育指導担当課長	倉重 成歩
教育総務課課長代理	高谷 松慶
生涯学習課長	山下 昌志
教育総務課指導班長	安藤 通晃
教育総務課教育総務班長	高橋 梓
教育総務課教育総務班主査	添田 理代

7 傍聴者 2名

8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和5年度11月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

藤原委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 11月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

- (藤原委員) やってみたいいな、と思うことを教育委員会がすぐに実行し試していただけことは、先生や生徒にも伝わると思います。新しいことに取り組むのは大変ですが、小中一貫教育についても、前向きに試して良いことをやっていこうという姿勢が伝えられれば良いと思いました。中学生の作品を小学校に掲示するだけでなく、小学生にはカッターの使い方が中学校でのステンドグラス作成に繋がっていること、中学生には作成したら小学校で掲示をすることなどの経緯を伝えて欲しいです。中学校で作成した作品が小学校で掲示されることを伝えることで、小学校にいる弟妹に見てもらえる、誰かに期待されながらやることは、意識の行き先が増え、モチベーションに繋がる生徒もいると思います。
- (岡野委員) 11月8日中地区「道徳」研究会は、どのような内容だったのでしょうか。
- (教育長) 二宮小学校の全クラスの道徳を、中地区である平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町の道徳部会の教員に授業公開しました。にのみや学園として進めている、誰一人取り残されない話し合い活動を中心に、同一学年は同じ題材を用いて、学級ごとに少しずつ違った取り組みや統一した手法の取り入れなど、先生方が工夫された道徳の授業をされていました。2年生の授業では、子どもが自分から発したことに対して質問はないですか、と子ども同士で質問や意見のやり取りをし、先生が後ろに引いて、子ども達が授業を進めていくような姿が印象に残りました。
- (指導班長) どのクラスも対話的な授業が成り立っていたことは、とても素晴らしいことでした。また、手を挙げて意見を言うことが難しい児童もいる中で、様々な思考ツールを駆使しながら、その子の思いがクラスの皆に伝わるような工夫をし、全員が参加できるような授業が展開されていました。それを学校全体でできていることが素晴らしいかったです。
- (岡野委員) 一定の方向に皆の意見を集約するのではなく、皆の意見を俯瞰して見られるような授業ということですね。
- (古正委員) 11月7日の交流会では、保護者がいる姿を見て、他校間での保護者の交

流が生まれたことは良いと思えました。これからも積極的に情報発信をし、学校や町だけでなく、もっとオープンにすると良いと思います。一方で、受け入れ側は安全安心の確保が大変になると思いますが、出来る限りオープンにさせていただきたいと思えます。お配りした資料は子ども食堂のことになります。子ども食堂というと、多くの人の認識は支援の必要な家庭や子どもの居場所と捉えていますが、この資料では、誰でも来てもいい、子ども食堂を拠点として、地域の交流が深まれば良いと考えているといったことが書かれています。特別支援学級小中交流会も、子ども同士の交流だけでなく、保護者同士、保護者と子ども、町民にもどんなことをやっていることを知っていただく場になればいいと思えます。

- （教育長） 支援級の交流会は年1回ですが、学期ごとにオンライン交流会をしています。支援級だけでなく、同学年での朝の会や給食の時にオンラインで繋がる取り組みをしています。また、小中一貫教育のプロジェクトは、ホームページに掲載をしています。
- （杉本委員） 11月9日、13日の幼保小園児児童交流会は、9日は二宮小学校、13日は3小学校となっていますが、二宮小学校は2回実施したのでしょうか。
- （教育指導担当課長） 3小学校で実施をし、二宮小学校は受け入れ人数が多いため、2日に分けて実施しました。
- （杉本委員） 幼稚園ごとに先生が学校に連れていくのでしょうか。
- （教育指導担当課長） その通りです。今年は5年生が新1年生となる園児を迎えました。
- （指導班長） 1年生が園児の受入れ全てを担うことが難しいため、5年生が出迎えを担当しました。新6年生としての意識づけに繋がるように、全ての小学校で5年生も関わるように実施しました。小学校からは非常に良かったという声も届いています。
- （岡野委員） DX教育総合展が毎年開催され、ここ数年でICTの展示が増えていきます。展示会は1年経つと、急激に変わって、半年前はできなかったことができるようになっていたりするので、大いに刺激になると感じています。電子黒板は個別最適にどう繋がっていくのかを感じとれる良いチャンスではないかと思えます。日本で一番規模の大きな展示会で多くの情報が集まっていると思うので、機会があればお願いします。
- （指導班長） 先日、東京学芸大学附属小学校での教育セミナーで、生成AIを活用している授業を見てきました。生成AIというと、人が考えなくなるという課題が指摘されていますが、実践されている先生はむしろ生成AIを活用することで、より深く考える子どもを育てることができるとおっしゃっていて、授業でもまさにそうした姿を見ることができました。子どもは先生や友達の意見を否定することが難しいのですが、生成AIが提案することに対して、『それは違うよ』『賛成する部分もあるけど、反対する部分もある』など、生成AIという人格を持たない登場人物を入れることで、話し合いが多面的多角的になっている授業を目の当たりにし、生成AIの活用や可能性を感じ、今後も研究を進めていかなければならないと思えました。
- （教育長） 新しい切り口がどんどん進んでいて、二宮町も町を挙げてDXに取り組んで

いますので、さらに研究していかなければならないと思いました。

- （指導班長） その授業を実践している先生を、来年の教育講演会の講師として招き、『インクルーシブ×ICT』のテーマでの開催を計画しています。
- （岡野委員） 『小学生が分かるように、月が何故落ちてこないのかを説明してください』という質問にAIは、月が地球の周りを回っていて、遠くへ行こうとする力と地球に引っ張る力を取り合っている、という遠心力という言葉を使わずに回答が返ってくるレベルになってきています。AI同士で対話させるとどう発展するのかという研究もされており、AI同士でも合う・合わないが出てきています。
- （指導班長） 生成AIを活用しているクラスの子どもが一番生成AIに対して、批判的だったのが印象に残っています。生成AIの言っていることが全てではないという感覚で、子ども達が生成AIを活用している姿が良いと思いました。
- （岡野委員） 毛嫌いをするのではなく、賢く付き合っていくことが必要になってきています。

4 付議事項

（1）議案第16号 令和5年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

- 非公開 -

（1）議案第17号 令和5年度二宮町一般会計補正予算（第6号補正）（案）について

- 非公開 -

5 報告・協議事項

（1）令和6年度予算について

- 非公開 -

（2）その他

- （岡野委員） 小中一貫教育施設一体型の研究会について、来年の5月6月に向けて提言書を作成することになっています。皆さんの士気をできるだけ落とさずに、意見をできる

だけ反映した形で作っていく中で、11月に予定していた日程が延期になっているので、皆さんの士気を落とさないためにも、スケジュール管理の厳格をお願いします。特に今回は、日程調整した後に、延期しているのでお願いします。

－ 次回教育委員会予定 －

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時20分 閉会